

箱包装を自動化する
カートナーの専門メーカー海外発注可
納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンライン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット

最新型のカートニングマシン

業務内容
一品もののカートナーを
開発・設計・製作

「パッケージ」はプロダクトの顔ともいえる存在だ。商品の魅力やイメージを消費者・使用者にわかりやすく伝え、それと同時に内容物を保護する等さまざまな役割を果たしている。

美木多機械は、小箱詰機等のパッケージに特化した自動包装機械（カートナー）の専門メーカーだ。設立以来、大手製薬会社等を中心に信頼を積み重ねてきた。

得意分野
顧客と二人三脚でつくる
完全オーダーメイド方式

カートナーの製作は、ほとんどが完全オーダーメイド。商品の種類・形状・用途の違いの他、出荷数・素材・デザイン等により、細かな仕様が異なる。リピート品でも仕様変更があり、再設計が必要なのだ。「ですから、お客様のニーズを細部まで聞き出し、効率面・コスト面で最適な提案をすることが求められます」と森内社長は話す。

同社の売上げの90%が製薬メーカーとの取引だ。医薬品のパッケージは薬事法の規制もあり、非常に高い精度が求められる。印字検査機やバーコード読み取り機等、多くの専門知識・付帯技術が必要とされる。同社では高度な提案力と設計力を駆使し、機械の能力や配置、安全性や操作性等を綿密に打ち合わせた上で、「一品もの」の機械製作に取りかかる。近年では化粧品のパッケージ等、さらに高品質が要求される業務も数多く受注しているという。

強み
蓄積した実績と発想力で
提案に付加価値をプラス

同社の強みは、これまでの受注によってバリエーション豊かなベースラインナップを持っていることだろう。横型間欠カートニングマシン「MKYシリーズ」や、傾斜型の「MKKシリーズ」等、ベース機的应用により低コストでのオーダーメイドが可能となっている。

また、新技術導入にも積極的だ。検査工程がデジタル化する流れを受け、RSコードやデータマトリクスコードの機内印字も他社に先駆けて取り組んでいる。

今後の展望
包装の前後工程も含めた
横の展開で業務拡大を

今後はカートニングマシンの性能強化と共に、自動化機械のさらなる水平展開を目指すという。例えばカートナーに商品を送り込む自動供給部をセットで開発したり、パッケージ後の集積工程をオートメーション化する等、顧客の作業現場における省力機械の設計・開発は今後の重点項目だ。

「今後も、顧客のニーズを先取りした開発を行いたい」と森内社長。創業以来培ってきたチャレンジ精神と実行力で、より一層専門技術に磨きをかけていくはずだ。



薬品・食品等、取引業界は多岐にわたる

COMPANY PROFILE

株式会社 美木多機械

大阪
23

ISO 9001

当社の
歴史

30数年前に当社が開発したカートナー1号機は、配置業のパッケージに用いる薄型の紙箱を組み立てる製品でした。近年では、日系企業を通して海外工場への納入も行うようになっていきます。今後は、製薬業界だけでなく、食品・化粧品・機械部品等、世の中のありとあらゆるパッケージを手掛けていきたいと考えています。

高品質は当然。いかにかゆい所に手が届く
提案をできるかが勝負です。

代表取締役社長 森内 克幸さん



■主な事業内容

自動包装機械・省力機械の設計・開発・製作及び、メンテナンス等

■主な取引先（納入先）

大手製薬会社等

住所／〒594-1144

和泉市テクノステージ
3-6-2

TEL／0725-92-6688

FAX／0725-53-5600

創業／昭和45年6月

設立／昭和55年4月

資本金／6,000万円

従業員／35名

<http://www.mikitakikai.co.jp/>